

地域の活動拠点のあり方を考えています！

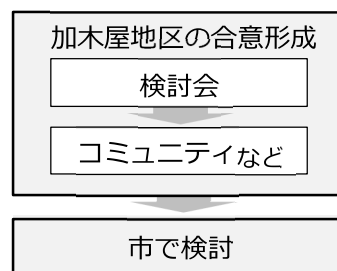
- 令和6年度（2024年度）から、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方について検討しています。今年度の第3回は10月20日（月）に開催しました。（参加者10名）
- はじめに、東海市加木屋中部土地区画整理事業における2号公園に関する情報提供を行いました。その後、第2回で検討した現市民館の北側及び南側の整備候補地案に関する意見も確認した上で、整備候補地案についてさらに意見交換を行いました。

北側と南側のメリットやデメリットについて、議論を深めました

テーマ	意見・議論内容(要約)
北側配置案について	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の使い勝手を考えると、北側に整備する方がよいと思う。 ・市民館の改修が可能であれば、中庭を玄関に改修する等の動線を確保し、新施設で面積が足りない部分は市民館を活用していけばよいと思う。その点では、北側に新施設を整備するのが合理的だと考えている。
南側配置案について	<ul style="list-style-type: none"> ・来館しやすさを考えると、交差点の横断歩道から近いという点では南側の方がよい ・市民館の中庭のスペースに屋根を付けるなど、駐車場の歩道から新施設と旧市民館に出入り可能にすれば動線が良くなる。 ・将来的に住宅が増え、児童館利用者も増加が予想される。車で来館する児童館利用者も多いと思われることから、駐車場と新施設が近い方がよいと思われる。
全般的な内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の上には工作物を置けないため、歩道以外の活用は難しいと思われる。 ・親子の利用者が来やすくなるような配慮があるといい。 ・児童館主体で考えていった方がよいと思う。安全面を確保すべきである。 ・児童館機能とその他の機能で共有しづらい部分(児童館占有スペース)があるため、その点を念頭に置きながら検討していく必要がある。 ・北側に整備する場合、南側の駐車場から西側の歩道をベビーカーを押しながら行くのは大変かと思ったが、線路側に動線を確保できるのであれば、その点については北側、南側案のいずれも条件は変わらないと思う。

- 最後に、検討会の開催経過や検討状況等について、コミュニティ関係者に説明し意見聴取するための説明会について、開催時期や内容について意見交換を行いました。
- 説明会に参加していただきたい人・団体として、加木屋町内会の支部や市民館主事などが挙げられました。開催日については12月中が候補となり、コミュニティ事務局を通じて参加者集めを行うことになりました。

※後日調整し、12月6日（土）午後3時から加木屋コミュニティーセンター会議室にて説明会を開催することで決定。



本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市総務部市民協働課

電話：052-613-7525
0562-38-6136

Email

chiiki@city.tokai.lg.jp